

# 《 疑問文練習ワーク I 《いつ・どこ・だれ・なにに編》 の使い方 》

## I. 疑問詞選択課題(【質問のことばに○をつけよう】)

- ① 応答の内容に対して適切な質問となるように、疑問詞を選択して、○をつける。  
\* 解答の際は、応答の文の助詞を手がかりにすることができる。(例:「お父さんが」→「だれが」)
- ② 疑問詞を選択したら、指導者と子どもで役割を決めて、質問-応答のやりとり(読み合い)をしてみる。

I-問題1

いつ、**だれが**、どこで、なにを、わすれましたか？

お父さんが、わすれました

青木先生 → 高田君

## II. 助詞穴埋め課題(【□の中に助詞を入れよう】)

- ① 応答の内容から、質問の疑問文中の助詞を考えて□の中に入れてみる。  
\* 解答の際は、応答の文の助詞を手がかりにすることができる。(例:「かさ**を**」→「なに**を**」)
- ② 文末は、丁寧体は「か」、普通体は「の」を入れる
- ③ 助詞を穴埋めしたら、指導者と子どもで役割を決めて、質問-応答のやりとり(読み合い)をしてみる。

II-問題1

なにを、わすれましたか？

かさを、わすれました

青木先生 → 高田君

## III. 単語配列課題(【ことばをならべよう】)

- ① 提示されている単語を並べ換えて、吹き出しの中に質問の疑問文を作る。  
\* 上段に、解答例が示されており、その疑問文を、作成の手がかりにすることができる。  
\* 書字が難しい場合、単語の切り貼りでの解答も可能。
- ② 文が完成したら、指導者と子どもで役割を決めて、質問-応答のやりとり(読み合い)をしてみる。

III-問題1

解答例

だれが わすれましたか？

お父さんが わすれました

↑ ことばを、ならべて文をつくらう

か わすれました が だれ

↑ 参照

なに を わすれました か？

かさを わすれました

↑

か わすれました を なに

青木先生 → 高田君

## IV. 疑問文作成課題(【質問の文を作ろう】)

- ① 質問の疑問文を作成する。  
\* 上段に、解答例が示されており、その疑問文を作成の手がかりにすることができる。  
\* 下段には、使用する4つの疑問詞が提示してあり、そこから適切なものを選択することができる。(※解答例で使われている疑問詞は消されている。)
- ② 文が完成したら、指導者と子どもで役割を決めて、質問-応答のやりとり(読み合い)をしてみる。

IV-問題1

解答例

だれが わすれましたか？

お父さんが わすれました

↑ から、えらぼう

どこで わすれましたか？

えきで わすれました

↑ 参照

いつ・だれ・どこ・なに

青木先生 → 高田君